

目次

発刊に寄せて 〈東海村長 村上達也〉 1

第一部 青い光を見たか

13

ドキュメント I

緊急報告・臨界事故 14

1 臨界事故 14

工員倒れる 14 / 救急車を呼べ 16 / 青い光を見た 18 / 臨界事故 20

2 防護作業 22

臨界が続いている 22 / 反応を止めろ 24
暗闇の中の決死隊 27

3 住民感情 30

避難と退避 30 / 原子力村の事業者たち 33
須藤前村長が語る 36 / そして東海村は 39

第2部 再処理工場の火は消えたか

43

ドキュメントⅡ-1

再処理工場火災・爆発 44

1 火災発生 44

その日の朝は 44 / 火災報知器のベルが 46 / 消火のあと 49

2 消火確認 51

村長の申し入れ 51 / 消火確認調査 53

3 爆発煙上 55

予期せぬ爆発 55 / 噴煙夜空に 57

4 役場待機 59

村役場ではそのとき① 59 / 村役場ではそのとき② 61

村役場ではそのとき③ 64

5 情報不足 67

電話で知らされる 67 / 早朝の有線放送 69

6 謝罪叱責 72

事故の翌朝 72 / マスコミ VS 村民 74 / 調査団とそして叱責 77

ドキュメント II-2

動燃解体シヨック 80

1 原因究明 80

施設の目的は 80 / 火災の原因と消火手順 83
爆発の原因 85

2 問題露呈 87

安全対策の軽視 87 / 組織の硬直化 88 / 下請け問題 91

3 虚偽報告 94

問題行動 94 / 虚偽報告事件の真相 96

4 影響重大 99

村は不幸中の幸い 99 / 中止になった祝賀式典 102
試練をバネに 104 / 法による処分 106

5 動燃解体 108

動燃解体の火の手 108 / 改革検討委員会 110

6 機構発足 113

新たな厳しいスタート 113 / 運転再開をめざして 114

第3部 原子力村発展秘史

119

1 東海前史 120

東海という名称 120 / 東海村前史 122 / 須藤富雄の生い立ち 125

2 誘致作戦 128

原子力の誘致 128 / 原子力と須藤青年 131

3 村長選挙 134

村長交代劇と原子力 134 / 須藤村長の誕生 136

4 村民融合 140

新住民の受け入れ 140 / 家族の交流を 142

5 Tokai 144

外国人村 144 / 東海原子力クラブ 148

6 環境整備 151

地帯整備 151 / 安全協定 154

第4部 村長は決断した

159

1 原子力村 160

原子力との対話 160 / デモンストレーション効果 163

2 再処理考 165

再処理技術の開発 165 / 再処理工場設置容認まで (須藤氏の証言①) 167

再処理工場の運転まで (須藤氏の証言②) 170

3 火力発電 173

石炭火力への反対論 173 / 石炭火力と自然放射能 175

4 合併問題 178

二市一村合併問題 178 / 時期尚早と反対 180

5 選挙応援 183

知事選挙の応援に立つ 183 / 風向きが変わった 185

6 退任決意 189

その夜の決意表明 189 / 村議会での辞任挨拶 191

第5部 新世紀の東海村へ

195

1 国際交流 196

姉妹都市交流の先駆け 196 / 村長の海外探訪 199

チエルノブイリで被ばく? 202

2 人間関係 205

顔の見えるおつきあい 205 / 地元とのパイプを 207

新・交流のあり方 209

3 未来遺産 211

正確な報道とは 211 / 東海村を教材に 214 / 教育研究村として 215

4 開発精神 218

育て新産業 218 / 原子力医療センター構想 222

原子力熱利用の促進 224

5 将来展望 226

新村民意識 226 / 原点にたちかえって 229 / 未来へのまなざし 232

どう読むのか、この問題の書 (社)日本原子力産業会議副会長 森 一久 < 235

二十一世紀—原子力国際情報の発信基地 (東京大学大学院教授 鈴木篤之) < 241

略年譜 257 (248)

あとがき (株)ソシオ・エナジー・システム代表取締役 國分郁男 < 258